



藤内 優さん

高校時代はバスケット部の副将としてコミュニケーションを重視した経験を持つ。現在、有限会社カワバタ建設(春江町)に勤務し、インベーションとフィットネスの各事業部部長を務める。

仁愛大学同窓会「世灯会」がお届けする「卒業生ダイアログ」。今回は、マーケティングに従事する藤内さんに、大学の学びが仕事にどう生かされているかをお聞きしました。



大学で身に付けた
ファシリテーション力が
仕事を面白くしてくれる。



ジム内のカフェスペースで仕事をすることもある藤内さん。「お客様にインタビューすることがあります。ご本人も気づいていなかった潜在意識を見つけ出せると嬉しいですし、マーケティングにも役立ちます」

— 仁愛大学への進学を決めた理由は？

友人や家族の存在が大きく、県外進学は考えていませんでした。特に取得したい資格や就きたい業種もなく、何となく大学パンフレットを見ていたら「心理学科/コミュニケーション学科」の文字が！ 何だか面白そうだなあと決めました。

— 印象に残っている授業や出来事は？

1枚の写真から物語を作って発表したり、グループで紙ヒコーキを作って2階から飛ばして滞空時間を競ったり、グループディスカッションをしたり。皆と一緒に考えたり、話し合ったり、行動することが多く、どれも楽しかったです。

— 就職の経緯と仕事の内容を教えてください

卒業後、最初に入社したのは県内のベンチャー企業で、9年間、多くの経験をさせていただきました。異動を機に思うところがあって転職を決意。その後、縁があって今の会社に就職し、住宅のマーケティングとフィットネスジムの店舗運営を担当しています。住宅関連では広告管理や施策立案・実行、顧客管理、ジムでは経営戦略を考えています。

— マーケティングと店舗運営。大学の学びとは違います。役立っている勉強は？

グループディスカッションです。何度も

経験することで、「議題の落としどころをどこにするか」「時間通りに進んでいるか」など、話をまとめるファシリテーション力が身に付き、役割を果たすという責任感も強く持てるようになりました。社会人になって驚いたことの一つに、ミーティングの多さがあります。決められた時間でミーティングを上手くまとめて一定の結果や結論を出しているのは、大学での学びのおかげです。

— 仕事でのやりがいは？

マーケティングの基本は、「商品価値の見出しとユーザーの課題解決」と考えています。顧客が本当に悩んでいることを発見し、プランを計画し、実行する。それが数字として表れた時にやりがいに感じますし、マーケティングの面白さも見出せています。

— 今後の目標は？

マーケティングのプロになりたい！ そして、40歳までには観光地としての福井県をブランディングすることも夢見ています。

— 後輩に伝えたいことは？

社会人になると「1週間休みをとってどこかに行こう」「明日、ふらっと県外に行ってみよう」などの行動が難しいですが、学生時代は比較的それができやすい環境です。「経験は思考と習慣を変える方法」なので、いろいろなことを経験してほしいです。

資格取得奨励金制度がはじまりました！

仁愛大学同窓会では、大学での学びを活かした卒業後のキャリア支援の一環として、卒業後に資格を取得した卒業生の方へ奨励金を支給いたします！ 資格取得後には、ぜひ申請してください。

『Instagram』にて最新情報発信中!!

Instagramにて、世灯会からのお知らせや最新情報を発信しています。是非フォローをお願いします!!



https://www.instagram.com/setoukai_jindai/

仁愛大学同窓会 LINE友だち募集中

イベントや、最新情報をお届けします。
<https://lin.ee/7ts5QCN>



〒915-8586 福井県越前市大手町3-1-1
仁愛大学同窓会「世灯会」事務局

E-mail dosokai@jindai.ac.jp www.jindai-dousoukai.jp/